みんなの文芸

俳句　榎本順江　選

縁に迎う見守り訪問四温晴　三沢　眞下　杏子

(評)晴れ渡った四温（三寒四温）の日、一人暮しを見守ってくださるかたの訪問がありました。暖かい縁側で久し振りに話題の尽きない楽しいひと時です。元気な様子に見守りの人も安心、次の訪問を楽しみに、お元気で。二句目、天の川の美しい空に、両親の星を決めました。作者だけが知っているあの星です。声を掛ければ大きく瞬いて答えてくれる事でしょう。父母を恋うやさしい作者です。三句目、台所から葱を刻む音が聞えて来ます。リズミカルな俎板の音が亡き義母の音に似ているとしみじみ思い懐かしむ作者。

父母の星を決めたり冬銀河　下田野　新井　節子

葱刻む音に亡き義母かさなりき　皆野中　小菅恭青史

薄氷の舟留めに影なかりけり　三沢　新井　民子

登校の無言の列や寒椿　国神　藤原マキ子

予報士は凍晴れと言い地図を指す　皆野　根岸　詩子

疫病よしずまれバチリ豆を打つ　皆野中　太幡琉美花

鳥曇り窓辺でまどろむ昼さがり　皆野　石原　達也

実家より早々届く蕗の薹　下日野沢　浅見　豊子

古りし家に住みて一人のお正月　上日野沢　四方田利男

梅一輪まず仏壇へ供えけり　皆野　豊田喜美恵

山際に日は延び白し寒の暮　皆野　萩原　初恵

万有の引力体現滝氷柱　皆野　戸塚喜久雄

正月にトランプ遊び脳鍛え　皆野　村田ハツ代

面会は間遠となるや梅二月　皆野　引間　千鶴

浅き眠りに一夜明け春遅し　三沢　新井　叶子

短　歌

追分の締め縄無しの道祖神過疎の風吹く老齢の郷　皆野　戸塚喜久雄

遠き日の輝切れた母の手を偲びながらにクリームを塗る　下田野　新井　節子

平凡に暮らせる幸せ思い知る予告なき災に堪える身なれば　三沢　新井　叶子

弟に蕗の薹など戴きて嫁の揚げたる天麩羅うまし　下日野沢　浅見　豊子

初雪に北国の苦労思ひつつ早春の兆し心待ちにす　三沢　新井　民子

コロナ禍のつのり一年「イチゴの日」秩父イチゴは特急で発つ　三沢　眞下　杏子

自費出版したと贈らるタイトルは「絶滅危惧種・昭和の少年」　皆野　引間　万亀

オームの法則公式覚えては師を捕まえて理科の暗唱　皆野中　太幡琉美花

あへぎつつ苔むす石段を上り来て湧きくる清水柄杓で呑み　国神　藤原マキ子

凍りつく真夜中だろうとコロナでもサイレン一つで皆野町消防団員　皆野　石原　達也

緊急の事態宣言首相より命の大事さ厳かに言う　皆野　根岸　詩子

金運は不要不急にあらざるや和銅遺跡に車轟めく　皆野　打木　昭廣

古希余り悲喜こもごもを生き抜いて思い出を置き友は去りゆく　皆野　萩原　初恵

節分を祝う夕げは鰯の香コロナ終息願いて食す　皆野　村田ハツ代

コロナ禍で大きく変る世の中の不況失業自殺のニュース　上日野沢　四方田利男

朝霜が山の枯れ木に白くつき陽が出るまでのつかの間の景　皆野　大澤　貴夫

俳句・短歌を募集

作品には、ふりがなをつけ、住所・氏名・電話番号を明記して
みらい創造課までお寄せください。

3日必着

1人1句、1首に限ります。

1歳のお誕生日おめでとう

実土（みと）くん
野巻区
卯田　真志さん
由香さん

毎日パワフルミト！
これからもっともっとたのしいね～

湊斗（みなと）くん
上三沢区
山口　義貴さん
瑞希さん

元気いっぱいな湊斗くん。
すくすく育ってね！

今月の題字

国神小5年
櫻井　園花（そのか）さん

児童の見守り放送

国神小6年
吉田　琉愛（るい）さん

※満1歳の赤ちゃんを募集します。4月号の締め切りは、3月10日(水)まで。ホームページからも応募できます。